

資料提供	
令和6年3月27日	
担当課 (担当者)	山陰海岸ジオパーク 海と大地の自然館 (小矢野)
電話	0857-73-144 5

深海のダンゴムシの仲間を展示

令和6年3月28日(木)から5月31日(金)までの間、鳥取県立山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館の展示水槽にて、深海に棲むダンゴムシの仲間「グソクムシ」を展示します。

記

1 展示生物

グソクムシ

※本種は、「グソクムシ科」に属する甲殻類で、生きた魚に一時的に寄生すると考えられます。一方、名前がよく似ている「オオグソクムシ」や「ダイオウグソクムシ」は、海底の魚の死骸などを食べる海の掃除屋で「スナホリムシ科」に属しており、展示中のグソクムシとは科や種が異なります。

グソクムシの概要

学名：*Aega dofleini*、体長：5 cm、生息場所：日本海・太平洋沿岸のやや深い水深帯（100～400m）、餌：魚類の体液、特徴：平たい体と触角の一部も平たく変形している等、鑑賞ポイント：オオグソクムシよりも小さく平べったい点。

2 展示期間

令和6年3月28日(木)～5月31日(金)

(展示生物の状態によっては、展示期間の変更もしくは展示を終了する場合があります)

3 展示に至る経緯

令和6年3月17日(日)～18日(月)に、沖合底引船「共幸丸(きょうこうまる)」[船長 田中壮一(たなかそういち)]が、兵庫県香住沖水深約210mから引き揚げた漁獲物(カレイの仲間)に付着していたところを発見し、とっとり賀露かっこ館に持ち込まれました。種類の判別のため、本県栽培漁業センターや当館に問い合わせがあり、「グソクムシ」と判別しました。

グソクムシ科の仲間は、今回のように偶然魚に付着しているところを発見されたり、底引き網などで深い水深の海底から稀に見つかる程度で、滅多に見ることができません。



展示中のグソクムシ 全長5cm

4 問合せ先

山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館 担当 小矢野

〒681-0001 鳥取県岩美郡岩美町牧谷1794-4

電話：0857-73-1445 ファクシミリ：0857-73-1446

電子メール：sanin-geopark@pref.tottori.lg.jp